

## 「人間の愚かさを知る」の作者

竹田百花さんへ

高校生の部「最優秀」賞、おめでとうございます。

レイチェル・カーソンの『沈黙の春』は、私も読んだことがあります。

私は今、アメリカで暮らしているので、レイチェル・カーソンが見たのと同じ自然を、毎日、見ていることになります。

ある年、レイチェルは友だちから「アメリカン・ロビンの死体が空から降ってきた」と手紙で知らされて、農薬や化学薬品の調査に乗り出しました。その結果、害虫を駆除する薬を散布したせいで、小鳥が次々に死んでいることに気づいたわけです。竹田さんが書いている通り、彼女は「人類が自分で自分の首を絞めている」ということに気づいたのですね。

竹田さんの作文を読んで、私ももう一度（いえ、何度でも）『沈黙の春』を読んでみようと思いました。「環境問題」という言葉を、この世に初めて送り出したのは、レイチェル・カーソンです。彼女の鳴らした警報を、今こそ私たちはしっかりと受け止めなくてはなりませんね。

文章も構成も表現も、たいへん明晰で素晴らしい作文でした。どの段落にも、竹田さんの意見や考えがこもっていました。私も改めて、環境について考えることができました。心から感謝しています。

小手鞠るい